

# 石川県私立高等学校經常費補助 金（特色分）の配分方法に係る 見直しについて

石川県総務部総務課

## 私立学校（高等学校）について

○私立学校は、建学の精神と独自の伝統や校風に基づき、時代の変化や生徒・保護者の教育ニーズの多様化に対応した特色ある教育活動を展開している。

また、県内においては、高校生の約3割が私立高校に在籍しており、公立高校とともに、本県における学校教育の発展に重要な役割を果たしている。

⇒県内の私立高校

- ・ 9校：金沢・金沢龍谷・北陸学院・遊学館・金沢学院大附属・星稜（以上、金沢市）  
小松大谷※1（小松市）、鵬学園※1（七尾市）、日本航空石川※2（輪島市）

※1：普通科のほか、小松大谷には体育科、鵬学園には調理科を設置

※2：日本航空石川は航空科のみ設置

・ 在籍生徒数：H25 7,610人 → R4 8,618人

中学卒業生数：H25 11,055人 → R4 10,053人

※少子化により、中学卒業生数が減少する中、私立高校への進学者数は増えている。

○県では、本県教育の重要な一翼を担っている私立学校に対して、その自主性を尊重し、建学の精神に基づく特色ある学校づくりへ支援を行っている。

具体的には、教育環境の維持・向上、保護者の経済的負担の軽減、学校経営の安定を図るため、私立学校経常費補助金をはじめとした各種助成を実施している。

# 私立学校に対する助成について

## ○私学助成の目的（私立学校振興助成法第1条）

- ①私立学校の教育条件の維持向上
- ②私立学校に在籍する生徒に係る修学上の経済的負担の軽減
- ③私立学校の経営の健全性の向上

⇒もって、私立学校の健全な発達に資すること

## ○本県の私立高校への助成状況（令和5年度当初予算の主なもの）

### 【経常費補助】

- ・ 私立高等学校経常費補助金（3,304百万円）  
→学校を運営していくために必要な人件費など経常的な経費について助成
- ・ 私立高等学校等特色教育推進費補助金（59百万円）  
→特色教育の取組状況（文部科学省の補助項目）に応じて助成

### 【保護者負担の軽減補助】

- ・ 私立高等学校等就学支援金（国制度）（1,927百万円）  
→保護者負担額を全額補助、又は公立授業料相当額を補助
- ・ 私立高等学校授業料軽減補助金（160百万円）  
→就学支援金に、さらに保護者負担額の半額を補助
- ・ 私立高等学校入学金軽減補助金（12百万円）  
→入学金の一部を補助
- ・ 教育費負担軽減奨学金（97百万円）  
→授業料以外の教育費負担を軽減

## ○概要

- ・ 5月1日現在における生徒数を基準とする一般分と各校の特色教育の実績に基づく特色分を勘案し各学校に配分する。

## ○特色分の配分の仕組み

- ・ 県で定めている配分項目に係る各校の特色教育の取組実績が補助金額に反映される。  
(全体の約7%)

### 【配分項目（現行）】

#### ① 自主講座の開設

(学校独自の土曜日講座の実施など)

#### ② スポーツ・文化活動の推進

(全国大会や県大会の実績)

#### ③ 教育の個性化・多様化の推進

(転・編入学生の受入れ、地域貢献の推進、家庭教育力の向上、資格教育実施、人権教育の推進、情報機器等の生徒向け研修、読書活動の推進)

#### ④ 教育条件の改善

(教員の専任状況、教員研修への派遣)

#### ⑤ 特別支援教育の推進

(バリアフリー関連事業の実施、障害者の受入れ、校内委員会の設置又は研修の実施)

#### ⑥ 安全・安心な教育環境の実現

(学校安全計画の策定又は防犯訓練の実施など)

#### ⑦ 学校評価等の実施

(自己評価と公表・学校関係者評価・第三者評価の実施など)

#### ⑧ 就職支援員の設置

#### ⑨ JETプログラムによるALT（外国語指導助手）の設置

## (参考) 私立高等学校特色教育推進費補助金について

- 私立高等学校が実施する特色ある取組のうち、教育の質の向上として、文部科学省が補助対象とする項目について支援  
(補助率 1 / 2 上限あり)

### < 令和 4 年度取組メニュー >

#### ① 次世代を担う人材育成の促進

グローバル人材育成のための英語教育の強化、国際交流の推進、数理・データサイエンス・AI教育等の推進等 (外部講師の活用等により、教育の質の充実に資する取組が対象)

#### ② ICT 教育環境の整備推進

情報通信技術活用支援員の配置、ICT機器を活用した教育環境の構築 等

#### ③ 教育相談体制の整備

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の活用、不登校の生徒等の教育機会についての支援 等

#### ④ 職業・ボランティア・文化・健康・食等の教育の推進

職業体験、ボランティア活動、伝統・文化体験、自然体験、地域社会や産業界等と連携・協同した取組、食に関する指導の充実 等

#### ⑤ 安全確保の推進

防災教育の充実に関する取組、通学路の交通安全確保に関する取組

#### ⑥ 外部人材活用等の推進

追加的な人材配置により、教員の働き方改革や学校活動の改善を図る取組 (教員業務支援員、学習指導員、部活動指導員等)

## ○見直しの背景・目的

- ・ 私立高等学校経常費補助金の特色分については、平成21年度の見直しから13年が経過
- ・ その間、グローバル化やデジタル化など新しい学習指導要領への対応や、学校を取り巻く社会・教育環境は変化
- ・ 令和5年には、新たに石川県成長戦略が策定予定

### ⇒社会の動向

- ・ 人口減少、少子高齢化の進行と地方創生の推進
- ・ 急速な技術革新（IoTやビッグデータ、AI等の技術革新、超スマート社会の到来）
- ・ イノベーション創出に関する国際競争の激化
- ・ 社会全体のICT化の加速や、グローバル化の進展

### ⇒教育をめぐる現状

- ・ 新学習指導要領の着実な実施
- ・ GIGAスクール構想の実現
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）などを踏まえた教育の推進
- ・ 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加
- ・ いじめ問題の深刻化、不登校生徒の増加



これらを踏まえ、特色分の配分項目の見直しを実施し、私立学校の健全な発展を図る。

（令和6年度から見直しを反映した配分を実施予定）

## ○見直しの方向性

現状の配分項目では、現在の社会や教育環境の変化を踏まえて策定された「第3期石川の教育振興基本計画（R3.3策定）」が目指す方向性に十分対応しきれていない。

### <基本計画が目指す人間像>

- ・ふるさとに誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人間
- ・生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ・責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ・健康や体力の増進に努める、活力ある人間

### <基本目標>

- 1 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成
- 2 学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成
- 3 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりの推進
- 4 信頼される質の高い学校づくりの推進
- 5 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上の推進
- 6 社会全体で家庭や地域の教育力の向上の推進
- 7 生涯にわたり学び続ける環境づくりの推進
- 8 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

## ⇒配分が不十分な項目（例）

### ○ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

（石川の文化や風土・産業などを活かしたふるさと教育の推進）

### ○イノベーションを担う人材の育成

（科学への関心を高める取組、科学的スキル獲得の取組）

### ○グローバル人材の育成

（実践的な英語コミュニケーション能力の育成）

### ○地元の企業や大学と連携した人材の育成

（大学や企業等と連携した最先端の知識・技能の習得）

### ○確かな学力の育成

（探究型学習の推進、きめ細かな指導体制の充実、情報活用能力の育成）

### ○キャリア教育・職業教育の充実

（職場体験、インターンシップ等の体験型学習の充実）

## ⇒課題を踏まえ、新規の配分項目を設定

※その他、項目を設定した当時の目的が達成されたことや、状況の変化による現行の配分項目の変更・廃止あり

# 新たな配分項目（案）

## ①ふるさと教育・地域との連携に関する取組

- ・地域の伝統文化や産業、課題の学習
- ・地域と連携したふるさと体験学習
- ・地域と連携した地域活性化や地域貢献の取組

## ②科学への関心向上・スキル獲得に向けた取組

- ・大学等の研究室への訪問や、科学分野の講演会など、最先端の研究内容に触れる機会の実施
- ・教員の自発的な教育研究の推進
- ・コンテストへの参加

## ③実践的な英語コミュニケーション能力の育成に関する取組

- ・留学生や海外の学校との交流活動
- ・海外留学の支援
- ・英語検定の積極的受検の奨励

## ④SDG s を踏まえた学習活動の充実

- ・学校の年間指導計画の中に位置づけたSDGsに関する学習活動

## ⑤実践的なデジタル教育の推進

- ・数理・データサイエンス、AIの基本的な知識の習得や情報活用能力の育成
- ・教員の専門的な研修の受講や情報科目の免許取得の支援

## ⑥キャリア教育の推進・積極的な社会参加に向けた取組

- ・地元企業と連携したキャリア教育
- ・主権者として社会に参画する力を育成する取組（模擬選挙など）

## ⑦STEAM教育等の教科横断的な探究型学習の取組

- ・各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な学習活動

## ⑧特別支援教育の取組の充実

- ・インクルーシブ教育の推進の取組
- ・特別な教育的支援が必要な生徒へのサポートに関する取組

## ⑨少人数指導、習熟度別指導等の充実

- ・既存の生徒数より少ない生徒数になるようにクラスを分けた授業
- ・きめ細やかに習熟度を確認しながらの習熟度別指導

## ⑩いじめ・不登校等への取組の充実

- ・未然防止のための生徒への啓発、教員研修の充実に関する取組
- ・いじめの早期発見のためのアンケートの充実に関する取組
- ・不登校生徒支援に係る関係者との緊密な連携に関する取組



### ①ふるさと教育・地域との連携に関する取組

- ・ 地域の伝統文化や産業を学びつつ、地域の課題を知り、その解決策を考える学習  
→ 地域住民に講師を依頼し、実践教育を実施  
（例）能登高校：「鳳雛ゼミ」の開催
- ・ 地域と連携したふるさと体験学習  
→ 農協、企業等と連携した地域の特産農作物の収穫体験や伝統工芸体験等
- ・ 地域団体や地元企業等と連携した地域活性化や地域貢献の取組  
→ 地域資源を活用した商品開発や、観光ガイド等の地域振興、災害ボランティア等

### ②科学への関心向上・スキル獲得に向けた取組

- ・ 大学や企業等と連携し、科学への関心を高め、イノベーションを担う人材の育成につながる取組  
→ ・ 大学や企業の研究室へ訪問し、最先端の研究に触れる機会の実施  
・ 研究者による科学分野に関する講演会 等
- ・ 科学教育研究の奨励事業に応募するなど、教員のスキルアップや自発的な教育研究の推進
- ・ 生徒の各種コンテストへの積極的参加  
→ 高校生を対象とした科学（数学も含む）分野のコンテスト等での入賞実績を評価  
（例）科学の甲子園（主催：国立研究開発法人科学技術振興機構）

### ③実践的な英語コミュニケーション能力の育成に関する取組

- ・ 留学生や海外の学校との文化交流や、学術的な交流活動  
→ 単なる交流だけでなく、コミュニケーション能力や実践的な英語力向上につながる内容での取組
- ・ 海外留学の促進や支援を図る取組  
→（例）トビタテ！留学JAPANプログラムの活用
- ・ 英語検定の積極的受験の奨励  
→（例）準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合60%を目標として英語指導を実施  
その実績を評価

### ④SDGsを踏まえた学習活動の充実

- ・ 学校の年間指導計画の中に位置づけたSDGsに関する学習活動  
→ 生徒の基本的な知識の習得や、持続可能な社会づくりに向けた課題や解決策を考える学習活動  
（例）
  - ・ 英語や保健、家庭科の教科で、食品ロスや貧困問題、健康、発展途上国や災害時に必要な「食」などについて、様々な角度から考える教科横断型の学習活動
  - ・ 企業が実施する衣類や家庭用品のリサイクル事業に参加し、環境問題や、資源循環について学習
- ・ 生徒の各種コンテストへの積極的参加  
→ 大学等が開催する高校生を対象としたSDGsの分野のコンテストでの入賞実績を評価

### ⑤実践的なデジタル教育の推進

- ・ 数理・データサイエンス、AI等の分野の基本的な知識の習得、情報活用能力の育成  
→（例）外部の専門家等を講師として、具体的な課題に対するデータサイエンスに基づく分析を、タブレットなどデジタル機器を使用して行い、プレゼンテーションを行う等、実践的な学習活動
- ・ 教員のデジタル教育に関する専門的な研修の受講  
→（例）大学や関係団体による授業力向上を目的とした研修会への参加
- ・ 情報科目の免許をもった教員の配置の促進  
→（例）免許を取得するための大学の履修に際し、単位修得のための学費の援助、必要に応じた特別休暇の取得制度の創設など

（参考）

数理・データサイエンス：様々なデータを処理し、分析することで、そこから新たな知見を引き出すための手法  
数学理論や統計学を基にして、ビッグデータ等の分析をするための方法

AI（人工知能）：コンピュータがデータを分析し、課題定義や解決、学習等を行う、人間の知的能力を模倣する技術  
情報活用能力：学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力。情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等を含む（学習指導要領参照）

### ⑥キャリア教育の推進・積極的な社会参加に向けた取組

- ・ 県内で活躍する若手の企業人との意見交換や、職場体験や就業体験（インターンシップ）など、地元企業と連携したキャリア教育
- ・ 模擬裁判や、模擬議会といった実践的な活動を取り入れるなど、主権者として社会に参画する力を育成するための取組

### ⑦STEAM教育の観点を含んだ探究型学習の取組

- ・ 各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な学習活動  
→（例）二水高校：エネルギー問題をテーマに、生徒が火力発電、原子力発電、再生可能エネルギーの発電量や炭素排出量をタブレット端末で調べ、理想の電力バランスについて意見を交換。自分とは異なる考えを持つ他者と話し合い意見をまとめる力を養う

（参考）

STEAM教育：「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の英語の頭文字。各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育のこと。問題を解いて正解を導き出す授業とは異なり、正解のない社会問題などを多様な観点から考える教育。さまざまな学問や職業分野で欠かせない能力を身に着けることができる」と期待されている。

### ⑧特別支援教育の取組の充実

- ・インクルーシブ教育の推進の取組  
→（例）手話講座や障害者による講演会等を通じ、障害に対する適切な知識を学ぶ
- ・特別な教育的支援が必要な生徒へのサポートに関する取組  
→（例）生徒個別の教育支援計画等を作成し、その生徒のニーズをふまえた適切な指導や必要な支援を実施

### ⑨少人数指導、習熟度支援等のきめ細やかな指導体制の充実

- ・既存のクラスの人数よりも少ない人数になるようにクラスを分けた授業の実施
- ・きめ細やかに習熟度を確認しながらの習熟度別指導

### ⑩いじめ・不登校等への取組の充実

- ・未然防止のための生徒への啓発、教員研修の充実に関する取組  
→（例）
  - ・全教職員参加による事例研究やカウンセリング演習など、実践的な内容の校内研修
  - ・弁護士による「いじめ予防教育」の出前授業を行い、生徒自身がいじめについて考える機会の提供
  - ・不登校の未然防止のため、「レジリエンス」を高め主体的に課題解決する力の養成
- ・いじめの早期発見のためのアンケートの充実に関する取組
- ・不登校生徒支援に係る関係者との緊密な連携に関する取組

# 既存項目の見直し（案）（新旧）

前回の見直しから13年が経過し、項目を設定した当時の目的が達成されたことや、状況の変化を踏まえ、現行の配分項目を変更・廃止する。

## 【令和5年度】

### 1 自主講座の実施

#### 2 スポーツ・文化活動の推進

- (1) スポーツ活動
- (2) 文化活動

#### 3 教育の個性化・多様化の推進

- (1) 転・編入学生の受入れ

### (2) 学校の地域貢献推進

- (3) 家庭教育力の向上
- (4) 資格教育の実施
- (5) 人権教育の推進
- (6) 情報機器の適正使用に関する研修

### (7) 司書教諭を配置する読書活動の推進

#### 4 教育条件の改善

- (1) 教員の専任率
- (2) 教員の各種研修事業への派遣

#### 5 特別支援教育の推進

### (1) バリアフリー関連事業の実施

- (2) 障害者受入れの推進

### (3) 校内委員会の設置又は特別支援教育の研修実施

#### 6 安心・安全な教育環境の実現

### (1) 学校安全計画の策定又は防犯訓練の実施

- (2) 生徒に対するAED訓練の実施
- (3) 薬物乱用防止教室の実現

#### 7 学校評価等の実施状況

### (1) 自己評価の実施と結果の公表

- (2) 学校関係者評価の実施
- (3) 第三者評価の実施

### 8 就職支援員の設置

#### 9 JETプログラムによるALTの設置

## 【令和6年度】

### 1 自主講座の実施（要件等を変更）

#### 2 スポーツ・文化活動の推進

- (1) スポーツ活動
- (2) 文化活動

#### 3 教育の個性化・多様化の推進

- (1) 転・編入学生の受入れ

### (2) 学校の地域貢献推進（要件等を変更）

- (3) 家庭教育力の向上
- (4) 資格教育の実施
- (5) 人権教育の推進
- (6) 情報機器の適正使用に関する研修

### (7) 司書教諭による生徒の読書習慣の定着の取組（要件等を変更）

#### 4 教育条件の改善

- (1) 教員の専任率
- (2) 教員の各種研修事業への派遣

#### 5 特別支援教育の推進

### (1) 廃止

- (2) 障害者受入れの推進

### (3) 校内委員会の設置又は特別支援教育の研修実施（要件等を変更）

#### 6 安全・安心な教育環境の実現

### (1) 学校安全計画の策定に基づく防犯訓練の実施（要件等を変更）

- (2) 生徒に対するAED訓練の実施
- (3) 薬物乱用防止教室の実現

#### 7 学校評価等の実施状況

### (1) 廃止

- (2) 学校関係者評価の実施
- (3) 第三者評価の実施

### 8 廃止

#### 9 JETプログラムによるALTの設置